

2008年12月2日

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

## 上海花園飯店との省エネ技術導入改修工事の契約締結について

東京電力と三菱商事が共同で設立した ESCO（\*注1）事業会社「日本ファシリティ・ソリューション株式会社（以下、JFS）」は、11月28日に日中両政府の閣僚らが参加して省エネルギー・環境対策に関して議論した「第3回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」の席上で、中国上海市を代表する高級ホテル「ガーデンホテル（上海）」と省エネ技術を導入した改修工事の共同実施の契約を締結しました。

本事業は、日本の進んだ省エネ技術を中国に普及させるためのモデル事業としてNEDO（独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）が中国政府と共同実施するもので、その委託先であるJFSと実施サイトであるガーデンホテル（上海）はそれぞれの役割分担に則り、省エネ設備を導入し、その効果を実証することで、導入技術の中国国内への普及を図ります。

JFSの役割分担は省エネ対策の設計および機器調達と「施工～運転」に対する技術指導で、据付工事および運転はガーデンホテル（上海）側で実施します。

中国における民生部門のエネルギー消費量は、急激な都市化、国民生活水準の向上を背景に、1990年以降、約2.3倍の伸びを示しており、深刻な課題となっています。この状況下で本事業が中国への技術導入、中国側事業者の能力向上、我が国事業者の参入促進に寄与し、中国での省エネルギー事業の普及、エネルギー問題の解決に貢献することが期待されます。導入する省エネ対策は下記の通りです。

- 1) 動力のインバータ化などの従来から用いられてきた省エネルギー技術に、空調及び給湯用の高効率ヒートポンプ、太陽光発電などの最先端の技術を、対象施設の実態に合わせて複合的に組み合わせることにより、従前の快適性と経済性を確保しつつ、エネルギー消費効率の大幅な改善を目指す。
- 2) BEMS (Building Energy Management System) を導入することで、建物のエネルギー使用・設備運用の実態を把握し、設備運用の最適化を図るとともに、エネルギー管理の概念を定着させ、運用段階での改善も促す。

JFS では、今後も本事業における導入設備の実証運転、普及セミナー等を通じて、本技術の中国国内への普及を推進して参ります。

（注1） ESCO とは、Energy Service Company の略。「ESCO 事業」とは、顧客（工場・ビル・ホテル等）に対し設備改善によるエネルギー効率化サービスを提供、効率化を保証し、顧客の光熱費削減分から収益を受け取る事業です。

以上